

| 寄せられた提案の概要（類似内容の提案をまとめて記載しています）   | 区の考え・対応状況   |
|---|---|
| <b>令和6年度に実施予定</b>   |   |
| 区内の未利用地を利用し、休憩コーナー、子どもの遊び場等として有効活用する。（東長崎等を含めた区内で実施）  | 未利用地活用事業の中で実施できるよう関係各所と調整を進めており、6月に西巣鴨や西池袋の区有地で子ども向けの遊び・スポーツ等のイベントを2回実施しました。  |
| 区役所に多文化共生・外国人住民サポートの専任職員を配置するとともに、外国人対応の窓口を設置し、サポート人員を1名配置する。インフォメーションセンターとして、外国人住民向けの情報を一元的に集約した上で、来場者に各部署への案内を行う行政サービスのワンストップ窓口にする。 | 区民提案事業である「外国人支援体制の強化」の中で、外国籍の方向けに一元的に情報提供等が可能な相談窓口を7月から設置しています。スタッフを配置しているほか、タブレット端末を使ったテレビ電話通訳等を活用し、22言語で相談が可能な体制を整えています。  |
| バーチャルチューバー（Vtuber）を用いた教材動画の制作と、それを用いたオンラインプラットフォームを構築し、コミュニティ形成や進路支援を行う。  | 適応指導教室、日本語指導教室において、バーチャルラーニングプラットフォーム（VLP）を活用した居場所や学習の機会を用意しました。児童生徒がアバター等を活用して、音声/テキストチャット、エモーションアクション等ができるプラットフォームを5月から運用開始しました。  |
| 宿泊型産後ケア施設がほしい   | 宿泊型産後ケア施設の委託先を区内に2か所増加させるとともに、デイサービス（通所）型を開始します。合わせて、自己負担額の減免も行います。<br>▶ 産後ケア事業（豊島区HP）<br><a href="https://www.city.toshima.lg.jp/565/kenko/kenko/1804131444.html">https://www.city.toshima.lg.jp/565/kenko/kenko/1804131444.html</a>   |
| バスケットボールのハーフコートの新設と、既存公園や公園のスポーツスペースにバスケットボールのリングだけでも設置を増やしてほしい。中学校や小学校の校庭にも設置してほしい。  | バスケットコートについて、高架下など適地を探しているところです。今年4月には、区立朝日公園（巣鴨5-2-2-1）のキャッチボール場にバスケットボールのゴールを設置しました。今後も引き続き検討を行っていきます。  |
| 「木造住宅の耐震診断助成事業」と「木造住宅の耐震改修助成事業」の対象を拡大する。<br>①対象者：「所有者かつ居住者」から「所有者」に変更<br>②対象建築物：昭和56年6月1日以降に建築され、十分な耐震性能を持たない建物にも拡大                   | 令和6年度拡充事業により、旧耐震基準の住宅(昭和56年5月以前に建築)だけでなく、新耐震基準の木造住宅（昭和56年から平成12年5月までに建築）への助成も開始しました。また、助成対象者について、「所有者の承諾を得た居住者」を新たに対象としました。<br>▶ 木造住宅の耐震診断助成事業（豊島区HP）<br><a href="https://www.city.toshima.lg.jp/315/bosai/taisaku/kunotaisaku/bosai/002186.html">https://www.city.toshima.lg.jp/315/bosai/taisaku/kunotaisaku/bosai/002186.html</a><br>▶ 木造住宅の耐震改修助成事業（豊島区HP）<br><a href="https://www.city.toshima.lg.jp/315/bosai/taisaku/kunotaisaku/bosai/002160.html">https://www.city.toshima.lg.jp/315/bosai/taisaku/kunotaisaku/bosai/002160.html</a> |
| 妊娠初期から産後までの男性に対する育児支援、啓発活動の実施   | 妊娠期から男性の育児知識を増やし、助けを求められる力を向上させる取組として「妊娠期からの男性育児支援事業」を行っており、令和5年度は官民連携を目的とした会議や実態把握のための調査を実施しました。令和6年度も引き続きセミナー等の開催を予定しているほか、これまでの調査結果等を踏まえた豊島区版の父子手帳（仮）を作成予定です。<br>▶ 妊娠期からの男性育児支援事業（豊島区HP）<br><a href="https://www.city.toshima.lg.jp/258/2401291022.html">https://www.city.toshima.lg.jp/258/2401291022.html</a>  |
| <b>既存事業の拡充等にて実施</b>   |   |
| 豊島区防災士資格取得助成制度の拡充   | 現行の防災士資格取得補助事業により、5か年で各救援センターに資格者を一人ずつ配置する計画となっており、令和5年度までに18人が本事業を活用して資格を取得し、災害時に救援センターの運営に携われるよう勉強会などを実施しています。<br>▶ 防災士資格取得補助事業（豊島区HP）<br><a href="https://www.city.toshima.lg.jp/044/bosai/taisaku/shisaku/documents/2204191525.html">https://www.city.toshima.lg.jp/044/bosai/taisaku/shisaku/documents/2204191525.html</a>   |
| 個人情報識別番号を記載した「見守りキーホルダー」を配布する。  | 類似事業として、豊島区民社会福祉協議会にてカードへ個人情報に記載して携帯するあんしんカードの配布を行っております。また、区の事業として匿名化の要素も含め実施した場合、個人情報識別番号の照会に係る個人情報の取扱い、コスト面について課題があると認識していますが、引き続き利用者にとってより使いやすいものとなるよう検討をしております。<br>▶ あんしんカード（豊島区民社会福祉協議会HP）<br><a href="https://toshima-shakyo.or.jp/contents/anshin_card.html">https://toshima-shakyo.or.jp/contents/anshin_card.html</a>   |
| 子どもの交通事故を減らすため、通学路のマークを目立つように掲げる。マークの数を増やす。   | 年2回の交通安全運動や、小学校、PTA、警察との通学路点検、区民の声等を通じて要望を受け、適切な表示について警察と検討した上で整備しています。これまでも学校、警察と連携し速やかな対応を行っており、今後も継続して実施していきます。  |
| 自転車の無灯火の防止促進PRを行う。  | 現在、自転車安全利用キャンペーンにおいて、夜間の灯火走行を含む自転車の安全利用について普及啓発を強化しており、チラシやリーフレットを区独自に作成し、配布しています。電動キックボード等の安全利用についても、従来からのキャンペーン活動とあわせて多言語による啓発等も進めてまいります。   |

| 寄せられた提案の概要（類似内容の提案をまとめて記載しています）   | 区の考え・対応状況   |
|---|---|
| IKEBUSに関する提案<br>①IKEBUSに女性運転士を採用する<br>②IKEBUSに優先席を設ける<br>③IKEBUS運行会社の社屋に太陽光発電を設置する  | ①IKEBUSの運営は協定を締結している運行事業者が担うため、乗務員募集（PR）・採用の方針についても当該事業者が行っており、今後もさらに女性が働きやすい職場とする為検討を進める予定です。<br>②事業そのものが、交通弱者やまちに不慣れなお客様の回遊サポートを目的としており、誰もが快適に乗車できるよう、車椅子用の昇降機設置したり、乗務員によるベビーカーの乗車補助等を行っています。また、少ない座席数であるため、乗車されたお客様の多くが席を譲り合うなど協力していただいております。<br>③区役所本庁舎の太陽光発電設備による電気は、売電収入として活用しており、事業としてでなく区全体で再生エネルギーの活用を行っています。<br><br>尚、IKEBUSのさらなる活用として、サポーター企業との連携し、まちの価値を高める取組みや活用を積極的に推進、賑わいを広げるため、まちの変化に合わせたルートの設定を今後も行っていきます。   |
| 空蝉橋の金網が切断されて穴が開けられてしまっているため、不透明、半透明な壁、カバーなどを設置することで、鉄道ファンが集まるのを防ぎこれ以上金網が破壊されないようにする。  | 橋梁の保全については、計画的な点検、補修・補強、掛替え等を行っています。なお、空蝉橋においてご意見のような事象は確認できませんでしたが、引き続き迅速に現場の確認及び補修等の対応に努めてまいります。  |
| 区民が優先利用できるEV車の充電設備を増やし、駐車料金を低公害車割引にする。  | 令和6年10月にオープン予定の野外スポーツ施設「千早スポーツフィールド」に、電気自動車の急速充電スタンド1台を設置します。<br>また、既に急速充電スタンドを設置している民間企業等ともEV車の充電のしやすさ等、情報共有していきます。  |
| 谷端川南緑道で専門業者による定期的な樹木剪定や清掃を行うとともに、老朽化した遊具や設備の入れ替え、夏場の噴水を復活する。  | 樹木の剪定や清掃は定期的に行っており、その他の修繕も適宜対応しています。また、老朽化した遊具や設備等は、安全領域の確保を前提に、撤去もしくは修繕を行っています。噴水の復活については、大規模な漏水の発生による全面改修を行う必要があること、（仮称）公園の再整備方針を策定中であるため、早期の改修は難しい状況です。  |
| モバイルアプリを活用したインフラ老朽化情報の集約事業。情報提供者へはインセンティブ（お金に限らず、ネーミングライツなど）を提供するようなゲーミフィケーションを取り入れ、イベント的に楽しく取り組める活動とする。                              | ・公園遊具の損傷や街路灯の不具合をスマートフォンで撮影・投稿できる「遊具・街路灯故障通報システム」を導入しています。また、道路においては、既存の道路陳情処理システムを運用して年間1400件程度の陳情を処理しています。<br>通報機能については、既に通報システムを導入した他区の状況を注視していきます。<br>▶ 遊具・街路灯故障通報システム（豊島区HP）<br><a href="https://www.city.toshima.lg.jp/340/oshirase/2311211053.html">https://www.city.toshima.lg.jp/340/oshirase/2311211053.html</a>  |
| 下板橋駅から大山方面池袋本町3丁目道路両サイドの道路が狭いので自転車やバイク等（50cc）が通行しようとするとデコボコ道にはまりハンドルが取られ非常に危険なので整備してほしい。  | 道路事務所でパトロールを実施し、危険な箇所について応急補修をしました。   |
| 公園の設備に関する提案<br>①じゃぶじゃぶ池の開設<br>②筋トレ遊具の設置<br>③大型遊具の設置   | 親水施設や筋トレ器具、大型遊具の設置などにつきましては、（仮称）公園の再整備方針を策定したうえで、不足している地域への設置を検討していきます。現在は検討途中のため、今年度は具体的な設置予定はありませんが、近いところでは大塚台公園の改修で考えていきます。（令和8年度の予定）  |
| 特定の公園に対する提案<br>①千早フラワー公園アートと食の公園への改修<br>②大塚台公園蒸気機関車C58407の整備  | 千早フラワー公園の改修は、（仮称）公園の再整備方針を策定したうえで、より魅力的な公園にリニューアルできるよう検討していきます。<br>大塚台公園については、全面改修に向け、令和5年10月末から地域の方々を中心にワークショップを実施しています。SLについては重要な議題であると認識しており、修復するか、撤去するかについて議論しておりますが、撤去して公園を広く使いたいという意見が大勢を占めています。  |
| 区内の都電停留所の美化活動に加え、年1回「花電車」運行イベントを実施する。   | 都電停留所の美化活動に関しては、一部では地域の団体により実施がされております。他の停留所においては、地域の団体等との調整のなかで必要性等を踏まえ判断してまいります。また、沿線上の新宿区、北区、荒川区と交通局も含めた5者が加盟する都電沿線協議会で、桜の開花シーズンに合わせて都電を桜の装飾で彩る「都電さくらトラム号」の運行を行っています。<br>なお、イベントに合わせたキャンペーン活動を行うことは実施の余地がありますが、警察や交通局との連携が必要になりますので、費用対効果を踏まえて検討する必要があります。   |
| 公園に来たくなるようなイベントを実施する。<br>①ナイトムービー<br>②モーニングまたはナイトヨガ<br>③グランピング<br>④アウトドアリビングイベント<br>⑤図書館コラボ（移動式図書館）<br>⑥土日などにボールプール、水遊び場、フワフワドームなどを追加 | ナイトムービー、ヨガ、移動式図書館、水遊び場、フワフワドームなどは、中小規模公園活用事業で実施しているところです。<br>グランピングは、芝生を傷める可能性があるため実施しておりませんが、アウトドアリビングイベントはグリーン大通りの歩道で毎年秋に開催しております。<br>▶ 中小規模公園活用プロジェクト（豊島区HP）<br><a href="https://www.city.toshima.lg.jp/454/shisetsu/koen/2206271555.html">https://www.city.toshima.lg.jp/454/shisetsu/koen/2206271555.html</a><br>▶ 中池袋公園（指定管理者HP）<br><a href="https://hareza-ikebukuro.com/event/">https://hareza-ikebukuro.com/event/</a><br>▶ イケ・サンパーク（指定管理者HP）<br><a href="https://ikesunpark.jp/news_tag/%E3%82%A4%E3%83%99%E3%83%B3%E3%83%88/">https://ikesunpark.jp/news_tag/%E3%82%A4%E3%83%99%E3%83%B3%E3%83%88/</a> |
| 空き家を古民家カフェやサロンにし、地域の交流の場にするとともに、空き家対策の改善に努める。   | 区では地域貢献型空き家活用事業を実施しており、空き家をコミュニティカフェ等の地域貢献施設として活用したいオーナーと運営事業者のマッチングと改修費用の一部補助を行っています。<br>▶ 地域貢献型空き家活用事業（豊島区HP）<br><a href="https://www.city.toshima.lg.jp/310/2012241623.html">https://www.city.toshima.lg.jp/310/2012241623.html</a>  |

| 寄せられた提案の概要（類似内容の提案をまとめて記載しています）  | 区の考え・対応状況  |
|--|--|
| <p>ビルなどの空き部屋を開放し、商店街の休憩スペースにする。（特に夏）椅子やテーブルがない場合は用意できる企業に協力いただく。その際スペースは無償提供が望ましいが、ウォーターサーバーや充電ステーション、貸し傘などを設置する場合は区がある程度負担する。</p>                 | <p>空き店舗活用としては、令和6年度新規事業「空き店舗活性プロジェクト」にて対応しています。猛暑対策の休憩スペースとしては、区民ひろばをクールシェルターとして活用する取組に加え、令和6年度より新たに「涼みどころ薬局スポット事業」を開始しました。</p> <p>▶ 空き店舗活性プロジェクト（豊島区HP）<br/> <a href="https://www.city.toshima.lg.jp/122/2405221639.html">https://www.city.toshima.lg.jp/122/2405221639.html</a></p> <p>▶ 涼みどころ薬局スポット事業（としま涼みどころ）（豊島区HP）<br/> <a href="https://www.city.toshima.lg.jp/046/bosai/kikikanri/2405211421.html">https://www.city.toshima.lg.jp/046/bosai/kikikanri/2405211421.html</a></p>   |
| <p>ビルの空きスペースを利用して、マージャンなどのテーブルゲームができるカフェスペースを設置し、子供から高齢者まで楽しめる場とする。</p>  | <p>区民ひろばで誰でも利用できるカフェを実施しているほか、介護予防活動として麻雀等を行う団体が自主的に活動しています。</p>   |
| <p>受動喫煙防止の推進PR</p>   | <p>路上喫煙やポイ捨て、受動喫煙の防止に向けては、区の各部局が連携して横断的に対策を進めています。合わせて、豊島区版喫煙マナーを整理したポスター等を作成、啓発を行います。また、公衆喫煙所の設置可能性については引き続き検討していきます。</p>   |
| <p>喫煙所を設置してほしい。<br/>Smart Smoking Spotアプリで、喫煙できる場所を案内し、現在の利用者を表示（空き情報）、利用料をとるならアプリ内で清算できるようにする。</p>  | <p>民間事業者等による公衆喫煙所設置を促進するための助成制度を実施しており、令和6年度からは助成要件・助成額を拡大しました。また、公衆喫煙所の設置可能性については引き続き検討していきます。</p>  |
| <p>豊島区でエコバックやタンブラーを作り、スーパーや飲食店やカフェなどで使用してもらうと、ポイント還元。結果、プラスチックごみ削減につながる。</p>   | <p>エコバックなどの省エネグッズはイベントなどで配布を行い、環境への意識啓発を実施しているところですが、更に区民の意識を高めるため、民間企業等との連携など様々なアプローチ方法を検討します。</p>  |
| <p>イケバスを用いて、区内の各観光スポットで区内を拠点とし活動する芸術文化団体による体験鑑賞を行うとしまアートカルチャー体験ツアーを実施する。</p>   | <p>区内に点在する魅力的な観光スポット及び文化施設を貸切のIKEBUSで回遊するツアーでは、既定のルートに加え、不定期に特定のテーマによるスペシャルコースを運行しています。提案の「日本文化体験」についても、スペシャルコースの一つとして実施可能かどうか、ニーズやコストを踏まえ検討してまいります。</p>   |
| <p>区と地方自治体が提携し、区民が農作業や民泊など年間を通じた自然体験を通じて心も身体も健やかになる企画を実施する。</p>  | <p>「自治体間連携によるカーボン・オフセット事業」として、連携先自治体に整備する森林を活用し、CO2吸収量を増加させるとともに、森林を活用した自然体験を伴う環境交流事業を実施しています。</p> <p>▶ 交流都市との連携による「としまの森」づくり（カーボンオフセット事業）（豊島区HP）<br/> <a href="https://www.city.toshima.lg.jp/148/2110191628.html">https://www.city.toshima.lg.jp/148/2110191628.html</a></p>   |
| <p>区内の観光スポットの歴史や文化をスマホで読み取り、楽しく理解できる「QR情報ポイント」を各所に設置する。</p>  | <p>地域の魅力をより多くの方に楽しんでいただけるよう、近隣の神社や仏閣、地域に伝わる逸話を紹介する「未来遺産 雑司が谷がやがやお散歩マップ」を地域住民と協力して作成しました。これからも新しいマップを制作する予定であり、こうした取り組みを通じ、地域の魅力や、観光スポットの歴史や文化に関する情報を効果的に伝えていくとともに、各文化施設や関係団体と連携を強化し、質の高い情報の発信に努めてまいります。</p> <p>▶ 未来遺産 雑司が谷がやがやお散歩マップ（雑司が谷未来遺産協議会HP）<br/> <a href="https://zoushigaya-mirai.tokyo/">https://zoushigaya-mirai.tokyo/</a></p>   |
| <p>ダンス、演劇等のイベントに関する提案<br/>① 5月のGWに、区民参加によるイベント”としま未来Festival”を実施。グリーン大通りでのダンスパレードや劇場公演、ワークショップなどを想定。<br/>② 公園におけるミュージカルの野外上演、ミュージカルパレードの実施</p>     | <p>区内では既に地元を中心とした実行委員会などで、多くのイベントが年間を通じて開催されており、既存のこれらのイベントの魅力を向上させることで、より質の高いイベントを実施し、新たな賑わいを創出してまいります。</p>   |
| <p>「映画×公園」「としま4つの公園」自主映画上映イベントを実施する。</p>   | <p>区内では、すでに子ども向けの文化体験事業として、「としまアート夏まつり」の一環で公園にて映画上映会を行っております。令和6年度は、南長崎スポーツ公園多目的広場において、「夜の公演上映会 アニメーション・トラベル！」を実施予定です。また、南池袋公園では「南池袋公園をよくする会」により、夏と春に無料の映画上映会が開催されております。民間が主導するこうした活動のPR等を推進してまいります。</p>   |
| <p>音楽イベントの開催に関する提案<br/>① オーケストラと区内の子ども、高齢者、障害者との共演<br/>② オーケストラ団員による楽器レッスン体験、ミニコンサート開催<br/>③ 音楽を通じたワークショップやレッスンなどの実施<br/>④ 公募区民によるうたごえコンサートの開催</p> | <p>豊島区では、令和5年度に「としま文化の日」のイベントとして、東京都交響楽団スペシャルコンサートを開催しており、その中で子ども向けのプログラムや障害を持つ方々の招待を実施しています。さらに、SaLaD音楽祭では、ファミリーや子ども、障害のある方々も参加できるコンサートを都響と東京芸術劇場との協力で開催しています。今後も、これらの既存音楽イベントを活用し、より多くの方が参加し、様々な体験ができるよう取り組んでいくとともに、区民活動推進補助金を活用することも促して、より幅広い活動の実現を目指してまいります。</p> <p>また、障害者や高齢者、子どもたちにも敷居を低く良質な音楽を提供する事業、音楽と触れ合うことができる事業、音楽家を目指す若者の登竜門となるような事業等の構築に向けては、GLOBAL RINGでのTokyo Music Evening Yubeを運営する（株）ジャパン・アーツ、NHK交響楽団、都響、豊島区管弦楽団、豊島区吹奏楽団、100万人のクラシックライブなどからの協力が得られないか等、引き続き検討してまいります。</p> <p>加えて、介護予防団体等への活動費の一部助成も行っています。</p> <p>▶ 介護予防活動支援助成金交付事業（豊島区HP）<br/> <a href="https://www.city.toshima.lg.jp/167/koresha/kaigoyobou/documents/2201071421.html">https://www.city.toshima.lg.jp/167/koresha/kaigoyobou/documents/2201071421.html</a></p> |
| <p>豊島区を舞台あるいはテーマとした、漫画、小説、ゲーム、音楽等の創作のコンテストを実施し、上位入賞作品を、豊島区の魅力を発信するためのツールとして使う。</p>   | <p>例年、「トキワ荘のまち、4コママンガ大賞」を実施しており、令和5年度にはアニメソングの「区民ポータル・オーディション」を開催いたしました。引き続き、こうした施策の費用対効果も踏まえながら、区の魅力発信につながる事業を行ってまいります。</p>   |
| <p>豊島区役所で実際の業務を体験できるインターンシップ制度を作る。</p>   | <p>就業体験を通じ、学生の公務に対する理解を深め、自治体行政への関心を高めるとともに、若い学生の視点を取り入れて行政を見直す機会としてインターンシップ事業を行っています。R6年度は7つの部署で、8月から9月にかけて13大学31名の学生を受け入れる予定です。</p>  |

| 寄せられた提案の概要（類似内容の提案をまとめて記載しています）   | 区の考え・対応状況   |
|---|---|
| 区内企業・起業家等による、区への逆提案ピッチイベント。<br>区職員が気づかない地域の課題や、あたらしい解決策に触れる機会を設けることで、官民一体でのまちづくりの機運を高める。  | 官民一体となり、共創しながら社会課題解決に向けてすすんでいくプラットフォーム「チームとしま」を継続・発展させていきます。全体会では、区も企業もプレゼンをして問題提起をし、それに対してどういった解決策があるかを共に考え実行していきます。   |
| "シルバー フレンド マッチング イベント"<br>交流兼スマホ教室の開催を通じ、参加者各自の意思によるライングループボード作りとその活用を促す。   | スマートフォン教室や相談会を令和6年度も継続して実施しています。介護予防センターをはじめとした介護予防活動をきっかけとしたつながりに、スマホが活用できるよう今後もスマホ教室等を継続運営していきます。   |
| 今後介護をする方、将来介護に携わる方に対して、介護に関する情報や体験を提供する場所をつくる。  | 介護の仕事に興味がある方を対象とした介護に関する入門的研修において、車いすや白杖の仕様体験の場を設けています。また、学生向けに介護のお仕事を普及啓発するマンガ付きのパンフレットの発行、介護のサービスについて記載されているパンフレットの発行も行っています。<br>さらに、令和5年度にはファーマーズマーケットを利用して、としま福祉事業協同組合に委託し、高齢者の立場を疑似体験するイベントを開催しました。今後も受講対象者拡大や内容の充実等に取り組んでいきます。  |
| シニア世代が運営し、子ども達が集まり、母親は安心して任せられる、区民が集まる区民のための「としま食堂」を運営する。   | 山吹の里のカフェスペース等において月に2回程度、中学生以下の子どもを対象に実施されております。   |
| 空き店舗を活用し、無人書店を展開する。   | 空き店舗の解消を図るとともに、地域に根差した店舗を育成し、商店街をはじめとする地域の活性化を目的とした事業を実施しています。<br>また、区民ひろばでは、お下がり会や0円マーケットなど、不要になったものを必要としている方へお譲りする事業を実施しています。さらに、区民ひろば内に図書を配架しており、利用者が自由に読めるようになっています。  |
| サクラーズbizで、起業した女性たちの実践までをフォローアップ。<br>例えば、自宅サロンを開いてみたい。という方には、同じく事業内でサロン経営をしている方のもとで、1～2年程勤務や広報や集客、収益化していけるまでの実践アドバイスを貰える体制を組んでいき、座学で学んだ方々が、起業を順調に進めていけるまでをフォローアップしていく。<br>教育にかかる費用の一部、または、全部を区が補填する。 | サクラーズbizにより起業した方へのフォローアップについては、ビジネスサポートセンターによる販路拡大や創業相談にて対応していきます。教育経費の補助については、中小企業支援事業補助金「経営安定コース」の人材育成経費として一部補助を行っております。（スキルアップを目的とした研修・セミナーの受講料など）<br>人材のマッチング・募集については、ビジネスサポートセンターHP内で無料で募集ができる「ビジサポパブリシティ」という機能があるため、そちらをぜひご活用ください。<br>▶ ビジサポパブリシティ（ビジネスサポートセンター公式HP）<br><a href="https://toshima-biz.com/12_busipub_01kigyo.html">https://toshima-biz.com/12_busipub_01kigyo.html</a> |
| ・としま企業支援サイトをリニューアルし、映像運動などの情報発信により継承問題解決にも寄与するサイトに更新する。<br>・事業継承フェス（リアルなマッチング機会）を開催する。  | 映像運動に関しては、新たに運用開始した「ビジサポパブリシティ」にて対応しています。また、事業継承フェスに関しては、チームとしまによる企業間のつながりを促すことでマッチング機会の増加につなげていきます。<br>▶ ビジサポパブリシティ（ビジネスサポートセンター公式HP）<br><a href="https://toshima-biz.com/12_busipub_01kigyo.html">https://toshima-biz.com/12_busipub_01kigyo.html</a>   |
| 豊島区Wi-Fiスポットエリア拡大   | 区有施設や公園、池袋・大塚・巣鴨・駒込などの区内駅周辺、防災拠点等、区内82か所に整備済みであり、23区で中位程度の整備拠点数となっています。今後拠点数を増やす予定はありませんが、令和6年度は一部施設で現在よりも通信速度が早い機器への更改を予定しており、今後も通信環境の向上に努めていきます。<br>▶ 区内Wi-fiスポット（豊島区HP）<br><a href="https://www.city.toshima.lg.jp/020/wi-fi/top.html">https://www.city.toshima.lg.jp/020/wi-fi/top.html</a>   |
| 子育て支援施設に関する提案<br>①区民が無料で利用できる子どもの遊び場（屋内施設）<br>②大型遊具がある屋内施設<br>③子供達が遊べて、親もゆつくりでき、ご飯が食べられるスペース<br>④高齢者と赤ちゃんが一緒に入れる場   | 区民ひろばはすでに無料で子どもの遊び場として提供されており、ランチタイムの実施でご飯が食べられるスペースも設けています。大型遊具の設置については、設営等の課題はありますが、一部直営施設でのモデル実施について検討をしていきます。高齢者と赤ちゃんとの交流については、現実として高齢者が望んでいるのかといった点や、安全性の面からの検証を行っていきます。<br>また、子ども家庭支援センターでも親子あそび広場事業を行っていますが、東部・西部の立地など不便な点もあるため、区民ひろばの利用も含め検討していきます。   |
| 豊島区の穴場発見スタンプラリー   | 民間事業者とも協力しながら、スタンプラリーに限らず、謎解きイベント等豊島区の魅力的なスポットに触れるイベントを実施しています。<br>▶ 池袋謎解き街歩き『IKE-CIRCLEイベント紹介ページ（豊島区HP）<br><a href="https://www.city.toshima.lg.jp/ike-circle/culture/event/202404_2nd.html">https://www.city.toshima.lg.jp/ike-circle/culture/event/202404_2nd.html</a>   |
| 災害発生時、民間事業者が保有するデジタルサイネージを連動させたリアルタイムでの災害情報発信ができる環境を整備し、官民一体となった情報連携を行う。  | 既に池袋西口公園デジタルサイネージとは災害情報伝達制御システムを連携させております。また民間施設については、東武百貨店との帰宅困難者対策に係る連携協力に係る協定の中で折り込み済みで、今後締結する協定においても、サイネージ保有施設については発災時の活用に係る協力を求めています。<br>他方、停電時には使用できないリスクもあるため、発災時の具体的なサイネージの運用方法や情報伝達手段の多様化について引き続き検討していきます。   |
| 国籍に関係なく安心して産前産後を過ごせる居場所「みんなの実家」を作る。   | 国籍の違いによる影響も注視しつつ、まずは産後ケア事業やその他母子保健事業など既存の事業で対応してまいります。（健康推進課）<br>▶ 産後ケア事業（豊島区HP）<br><a href="https://www.city.toshima.lg.jp/565/kenko/kenko/1804131444.html">https://www.city.toshima.lg.jp/565/kenko/kenko/1804131444.html</a><br>▶ 母子保健事業（豊島区HP）<br><a href="https://www.city.toshima.lg.jp/kosodate/ninshin/index.html">https://www.city.toshima.lg.jp/kosodate/ninshin/index.html</a>   |

| 寄せられた提案の概要（類似内容の提案をまとめて記載しています）   | 区の考え・対応状況   |
|---|---|
| 区内に木を植えて、区民が育てる   | 区民の皆様公園等の緑化活動に取り組んでいただくため、様々な公園でみどりの協定を結び、緑化活動を行っていただいております。また、区内に緑を増やす取組みとして、区民へのツル植物配布や、グリーンとしま再生プロジェクトにも取り組んでいます。今後は「豊島区みどりの基本計画」を踏まえ、区民・地域・企業等とも連携しながら、豊島区のみどりを守り、育ててまいります。   |
| 障害者への理解を深める交通教室および講座等の開催  | 区立小・中学校の福祉の学習の時間に障害者理解について学ぶ機会を様々設けています。また、東京都教育委員会より令和6・7年度人権尊重教育推進校として要小が指定されており、あらゆる偏見や差別の解消を目指す取組を行ってまいります。そうした取組の成果を区内全校に広めてまいります。   |
| 区内で活動するボランティアと区が共催で保護猫譲渡会を開催する。   | 保護猫譲渡会を開催したり参加しているボランティア団体に補助金を交付しており、引き続き補助金の交付を通じてこうした活動を行う団体を支援してまいります。<br>▶ 豊島区地域における動物の相談支援体制整備事業補助金（豊島区HP）<br><a href="https://www.city.toshima.lg.jp/212/inunokaikata/2209131109.html">https://www.city.toshima.lg.jp/212/inunokaikata/2209131109.html</a>   |
| 池袋にドックカフェや、ドックイベント、犬を連れて行ってもよい場所などを作る。  | 令和6年度は6回以上のペットイベントを開催予定です。中にはイク・サンパークで犬を連れてこられるイベントも予定しています。各動物愛護団体等と協力して開催してまいります。詳細は7月以降に区HP等でご案内します。   |
| 地域の企業と連携し、学生が地域の課題解決を企画し実現する、学生主体のエリアマネジメント事業。学生が主体的に企画から運営まで行い、運営にかかる費用や実施のサポートを行政・大学・各企業・その他支援団体が行う。企画内容は豊島区の子供の学び創出を目的とする。事業を実現する中でフィールドワークや、区民との交流機会を通して、産官学民の繋がりを生む。 | これまでも、チームとしま内で区の課題についてのプレゼンをした学生が、地域活動交流団体とつながった事例があります。学生の企画案に地域団体が反応し、今後は連携をとって地域を良くする活動を進めていくことになりました。引き続き、チームとしまがつながりの場となるよう、参加企業・団体による全体会の継続的な実施や、チームとしまサイトのさらなる充実など土台づくりを進めてまいります。  |
| 全小中学校に、算数 数学 国語 英語の放課後補習教室を設置する。  | 各校で、地域と連携した放課後学習教室等を実施しており、今後も取組を進めてまいります。  |
| 小学校で地域の英語を話せる方に英会話を教えてもらう。実際に教えている英会話教室とのコラボ  | 現行のチューター制度等を周知し、外部人材の活用を進めてまいります。   |
| 中学生の登下校時の負担軽減を目的とし、さんぽロック（鍵付きロッカー）を導入して置き勉を可能とする。   | 現在中学校の置き勉は可能となっています。物品の管理についてはまずは生徒へのマナーやモラルの指導が第一と考えており、引き続き指導を徹底してまいります。  |
| 区内に住む多国籍の子供への教育支援（日本語教育ほか）  | 日本語指導の必要な小学生については、従来より教育センターで通級指導を行っていましたが、保護者の送り迎えの負担軽減のため、令和6年度より指導員が在籍校を巡回し指導を行っています。また、現在各校において、通訳のボランティアを活用したり、大学と連携した取組を進めたりしており、引き続き外国籍児童・生徒への支援を進めてまいります。そのほか、学習院大学が区内の日本語教室のネットワーク化を図っております。現状では子ども対象の教室は少なく、ボランティアが無償で実施している教室が中心で継続性が課題となっています。区の支援の必要性については引き続き効果等踏まえながら検討してまいります。  |
| 地域のボランティアを募り、学習支援員がやっているような内容で、外国籍児童も含み支援の必要な児童を学習や生活面で支援していく。参加者それぞれの持ち味をいかしできることで支援してもらう。事業の運営についてもボランティア等の有志が行い、各学校のコーディネイターは学校運営協議会やPTA、児童委員の方などに依頼する。                | 現行のチューター制度等を周知し、外部人材の活用を進めてまいります。学校運営連絡協議会においても学校の実情に合わせた支援について検討するよう指導・助言を行ってまいります。また、としま地域未来塾において、中学生の自主学習を学習支援員がサポートしています。中には外国籍の生徒もおり、日本語の習得からサポートしています。さらに、コミュニティ・スクールを全校実施していく中で、地域学校協働活動を実施してまいります。  |
| 夕方以降の区内オフィスや定休日の飲食店などを借りて、小学生～高校生などが無料で学べる場所を提供する。勉強場所としてだけでなく居場所としても機能する。  | 豊島区では学びの機会をもてる地域であることを目指し、既に無料学習支援活動の輪が広がっています。豊島子ども学習支援ネットワークに登録している団体間では、行政も交えて定期的な取組についての情報交換を行うなど交流も盛んです。主に小中高生が対象となっていますが、社会人が通える教室もあり、また子ども向けに日本語教室を開催している教室などもあります。  |
| 学校の中で行っていた部活動を、学校を超えたモジュールで実施する。マイナースポーツも含めての運動部や自由な発想で文化部なども行い、子どもたちの健康育成&文化教養形成に寄与する。   | 令和5年度より、部活動地域連携・地域移行の検討が開始され、地域クラブをモデル実施しています。今後は学校部活動と地域クラブとの連携を図り生徒にとって有意義な活動を保障できるよう推進してまいります。   |
| 不妊サポートとして、クリニックへ通う時間、費用を区に負担してほしい。  | 不妊相談については女性の健康相談（産婦人科医師）を行っております。また、不妊治療費については都の助成制度があります。<br>▶ 不妊治療費助成事業（豊島区HP）<br><a href="https://www.city.toshima.lg.jp/219/kenko/kenko/iryojose/tokyo.html">https://www.city.toshima.lg.jp/219/kenko/kenko/iryojose/tokyo.html</a><br>▶ 東京都特定不妊治療費（先進医療）助成事業（東京都HP）<br><a href="https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kodomo/kosodate/josei/funin-senshiniryoku/index.html">https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kodomo/kosodate/josei/funin-senshiniryoku/index.html</a> |

| 寄せられた提案の概要（類似内容の提案をまとめて記載しています）  | 区の考え・対応状況   |
|--|---|
| <p>事業や副業的に小さくサービスを行っている個人や、それを必要としている方を登録できるマッチングサービスを行う。</p>  | <p>ビジネスサポートセンターHPにて、区内事業者が事業・商品・サービスについての記事を掲載し、PRやマッチングができる「ビジサポパブリシティ」という機能がありますので、ご活用ください。<br/>また、豊島区には企業間の「つながり」を促進する産官学連携プラットフォーム「チームとしま」がございますのでぜひご参画ください。<br/>▶ ビジサポパブリシティ（ビジネスサポートセンター公式HP）<br/><a href="https://toshima-biz.com/12_busipub_01kigyo.html">https://toshima-biz.com/12_busipub_01kigyo.html</a><br/>▶ チームとしま（TEAMとしま 豊島区産官学連携コンソーシアムHP）<br/><a href="https://team-toshima.jp/">https://team-toshima.jp/</a></p> |
| <p>高齢者や子育て中のお母さんなどの買い物弱者のために、軽自動車等による生鮮食品を中心とした移動販売事業を行う。</p>  | <p>既にとくし丸など民営の移動スーパーが区内を回っています。スーパーなどから遠い地域への買い物カーの誘致については、高齢者の生活支援推進員が中心になって進めており、区としても引き続き注視してまいります。</p>  |
| <p>夜10時～朝5時まで2人1組で徘徊老人や未成年が居ないか見回る。</p>  | <p>繁華街を中心に高齢者や未成年の見守りを含めた警戒活動を行い、引き続き警察等の関係機関と連携しながら、安全安心なまちづくりを推進してまいります。</p>  |
| <p>区と地域事業者が連携し、乳幼児から中学生まで、子どもの年代にあわせた防災教育・イベントを行う。</p>   | <p>幅広い世代の防災意識の普及啓発及び地域防災力の向上を目的として、子どもから大人まで防災について楽しく学べる「としまDOKIDOKI防災フェス」を毎年開催しています。</p>   |
| <p>「子ども」×「アート」×「まち」をキーワードにした共育プログラムの実施。<br/>①各画家のブースに置かれたキャンパスに、子どもたちが自由に絵を描くワークショップを開催。<br/>②アーティストたちは子どもたちが描きあげた作品に、それぞれライブペイントパフォーマンスを披露、公開制作にて作品を仕上げる。<br/>③完成した作品は、街中のレストランや商業施設を回遊し、年間を通して展示される。</p> | <p>令和5年度にNPO法人への委託事業として、同様のワークショップを開催しています。引き続き既存事業において様々なプログラムを提供してまいります。</p>  |
| <p>誰でも立ち寄れるまたは気軽にICTから相談できるなど ちょっとした相談や おしゃべりの場の中から適宜地域住民に必要な情報提供や関連機関に繋ぐことで出来る仕組みをつくること</p>   | <p>8か所の区民ひろばにコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、属性・内容を問わず相談を受け付けています。また、令和3年度よりコミュニティソーシャルワーク事業の一環として、小圏域における地域のプラットフォームづくりを開始しており、地域の個人、団体等が気軽にどんなことでも自由に語れる場づくりも実施しています。<br/>また、区民ひろば5か所において、平日に曜日ごとに毎日場所を替え、ひろばカフェを開催しています。さらに、子育てに関する相談について、区民ひろばと子育てインフォメーション（または保健所、子ども家庭支援センター等）をオンラインでつなぎ、区民ひろばから相談できる仕組みを検討してまいります。</p>  |
| <p>福祉的な悩みを抱えながらなかなか専門機関等につなげられない地域住民が、気軽に相談出来る仕組みを構築する。<br/>ホームページを立ち上げ、ボランティアスタッフや地域の大学生等とも連携し、ICT SNS、電話、郵送など多様な形で受付出来る体制とする。</p>  | <p>8か所の区民ひろばにコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、属性・内容を問わず相談を受け付けています。また、令和3年度よりコミュニティソーシャルワーク事業の一環として、小圏域における地域のプラットフォームづくりを開始しており、地域の個人、団体等が気軽にどんなことでも自由に語れる場づくりも実施しています。<br/>また、区民ひろば5か所において、平日に曜日ごと毎日、カフェを実施しています。子育てに関する相談について、区民ひろばと子育てインフォメーション（または保健所、子ども家庭支援センター等）をオンラインでつなぎ、区民ひろばから相談できる仕組みを検討してまいります。</p>   |
| <p><b>実施に向け検討</b></p>  |   |
| <p>きものの着付け体験を軸とした和文化芸術体験事業の展開<br/>①和文化体験所（案内所）の運営<br/>②「きもの」着付け体験<br/>③きものでまち歩き、IKEBUS観光ツアー、都電観光ツアー<br/>④「茶道体験」で地域唯一の食や和菓子を頂く「きものde美味ツアー」</p>  | <p>特に外国人旅行者にとっては、日本でしかできない体験の価値が高いことから、池袋東口観光案内所の運営事業者と連携して、具体的な方策を検討してまいります。</p>   |
| <p>毎年やっているジャズフェスタのブランディング。たとえばジャズといえばニューヨーク、ニューヨークと姉妹都市になれるかどうかは別として、ニューヨークジャズフェスとして、その日は街全体をニューヨークにする。<br/>百貨店にもニューヨークを意識してもらい、ニューヨークっぽい屋台を街中に置く、そこで買ったお酒や食べ物を食べながらジャズを聴いたら、俄然楽しいイベントになると思う。</p>          | <p>池袋ジャズフェスティバルは池袋西口の事業者を中心として構成している実行委員会が主導しています。この実行委員会に豊島区も参加しているので、区を通じて実行委員会と共有いたします。</p>  |
| <p>自習スペースの増設に関する提案<br/>①図書館の自習スペースの席を増やす。<br/>②廃校になった校舎の教室を自習スペースとして開放する。<br/>③夜まで利用できる自習スペースの設置</p>   | <p>今後施設整備を予定している上池袋図書館（令和8年4月リニューアル予定）、千早図書館（令和10年4月リニューアル予定）では、自習室または自習スペースを設置予定です。他館については、これらの施設整備後の利用状況も踏まえながら、既存の座席の一部を自習可能とすることを検討してまいります。</p>   |
| <p>メタバース空間やアバターを活用した社会参加支援</p>   | <p>現在区と連携しているひきこもり支援団体が既にメタバースを実施しており、今後、当該支援団体と連携してメタバースを活用した支援を進めていく予定です。</p>   |
| <p>市民（民生・児童委員や子どもの居場所づくりを実施している方）が学校長や保育園長にインタビューを行い、学校の声を広く発信する。</p>  | <p>関係課と調整して実現可能か検討してまいります。</p>  |

| 寄せられた提案の概要（類似内容の提案をまとめて記載しています）   | 区の考え・対応状況   |
|---|---|
| <b>引き続き検討</b>   |   |
| <p>駅、商店街、スーパー、病院、学校、区施設など、区民が利用する場所に停まるバスを増やす。</p>  | <p>豊島区は、バスが通行できない狭い道路が多く、現状では路線や停留所を増やすことは困難ですが、都市計画道路の工事の進捗にあわせて、シルバーバスが利用できる路線バスの再編を検討する予定です。</p> <p>また、新たな移動手段の検討として、利用場所を自由に選択できるAIオンデマンド交通（mobi）の実証運行を大塚地区で実施しており（～令和6年8月31日まで）、今後も様々な移動手段について検討を進めていきます。</p>  |
| <p>自転車シェアリングサービスを導入する</p>   | <p>民間事業者が展開しているシェアサイクルのポートが区内に約270か所あり、広域相互利用が可能となっております。</p> <p>現時点で区によるシェアサイクル導入の計画はありませんが、民間事業者とのヒアリングは継続して行っています。</p>   |
| <p>ぞうしがやプレーパークで区民ボランティアを育成し、他地域に拡大する。</p>   | <p>ぞうしがやプレーパークは地域の団体が実施しているため、団体等との調整が必要となります。まずはその必要性について検討していきます。</p>   |
| <p>戸建ての空き家を子育て世帯に提供し、新たな住まいとして活用する。</p>   | <p>空き家オーナーの空き家に対する意識改革を促し、空き家の適正な管理と利活用の促進を目的として不動産オーナーに向けたセミナーを年4回開催しています。セミナーでは、専門家や空き家利活用事業者の講演のほか、個別相談も実施しています。</p> <p>しかしながら、オーナー側の空き家の活用意向はそれほど高いとは言えず、戸建て空き家を子育て世帯向け住宅として活用するにはクリアすべき様々な課題がありますが、今後、区では子育て世代の定住のための施策について、空き家の活用も視野に入れて検討していきます。</p>   |
| <p>池袋駅周辺5kmは風営の営業を規制。ゆとり緑化で環境優良化し、自然と人が集まり、終日楽しめる文化都市池袋駅にする。</p>  | <p>南池袋公園、池袋西口公園、中池袋公園、としまどりの防災公園（イケ・サンパーク）の4つの公園を核とし、周辺の道路の緑化とつなげることにより、身近にみどりを感じ、快適に回遊できる歩行者空間の確保を計画していきます。</p>  |
| <p>1964年東京オリンピックを記念して岡本太郎が制作し、今は行方知れずとなっている「ディスコボロス像」の所在を、区の記録、起案文書等、周辺住民へのインタビュー調査などから明らかにする。</p> <p>行方が判明したら区内の施設（可能であれば南長崎はらっぱ公園）への設置を検討する。</p> <p>「ディスコボロス像」が発見できなかったとしても、インタビュー調査によって、それにまつわる人々の記憶を記録すること自体に意義があると考えられる。</p> | <p>ディスコボロス像についての情報はほとんどないことから、まずは、郷土資料館において作品照会を行うなどし、情報収集から始めていきます。</p>  |
| <p>引き込みがちなシニアが孤独・孤立から抜け出し、コミュニケーションの場に積極的に向かえるよう、各種服飾・美容専門機関の協力を仰ぎ、シニアファッションイベントを実施する。イベント後の高齢者関連施設での横展開も視野に入れる。</p>  | <p>介護予防の一環としてファッションイベントを開催することの効果等を含め検討が必要であり、まずは引き続き東池袋フレイル対策センターや高田介護予防センター及び、区民ひろば等での介護予防に関する講座開催や自主活動支援等により高齢者のコミュニケーションの場の確保を進めていきます。</p>  |
| <p>衣類の原材料のフェアトレードを推進するため、フェアトレードの原材料を使用した衣類を用いたエシカルファッションショーを、グリーン大通りで開催する。</p>   | <p>グリーン大通りの利用については多くの関係者との調整が必要であり、エシカル消費の周知という目的に対する費用対効果に課題があることから、まずは引き続き消費生活やエシカルに関するリーフレットの作成による周知活動や消費生活講座等によりエシカル消費の周知を進めていきます。</p>  |
| <p>豊島区の制定日10月1日に、豊島区役所庁舎を開放してファミリーデーを開催し、行政の取組み、方向性を紹介する場を設ける。</p> <p>区職員と区民の距離感が縮まり、交流、対話のが増えることで、お互いの立場を理解することができるのではないかと。</p>  | <p>タウンミーティング実施場所の一つとして「豊島区役所」を設定するなど、実施について検討していきます。</p>  |
| <p>区内に（池袋の現文化と親和性の高い）ガチャカプセルの設置場所を選定し、地元の企業や観光スポットと協力して、カプセル内に地域の魅力を反映したアイテムや情報を提供する。ガチャカプセルを活用して、区内の宝探しを楽しみながら、地域全体の多彩な魅力を発見する“豊島区ガチャツアー”を行う。</p>  | <p>様々な民間事業者の参画・結束が必要なことや、コンテンツの制約など課題はありますが、「チームとしま」のような場で協力事業者を募り、民間事業者主導で進めて行くことができるか検討していきます。</p>  |
| <p>東西を結ぶ道路やグリーン大通りを中心とした南北を繋ぐ道路（歩道）に、チョークアートや水性塗料を使ったアート絵画を描く。それに合わせて日本の子供の遊び文化であるケンケンパを描く。路面を使った遊び心のある施策でアート発信と話題性の向上を実現する。最終日は関係者や有志により路面の清掃を実施し、街のグリーン活動へ繋げる。</p>  | <p>許可や認可の取得、安全確保、そして地域住民の理解獲得など、実施にあたっての課題が存在しますが、今後、池袋駅東西駅前広場を整備し、歩行者を優先したまちづくりを推進するなかで、こうした趣旨の取組の実現可能性についても検討していきます。</p> <p>なお、令和4年11月に、主に池袋エリアの民間企業・各種団体・学校・行政機関（区含む）等が集まり、まちの向上に資する有益な情報を収集・共有した上で、様々な課題や将来のまちづくりの方向性について検討し、必要な体制整備や具体的なプロジェクトに繋げていく場である「池袋エリアプラットフォーム」が設立され、行動指針である「未来ビジョン」を策定いたしました。</p> <p>池袋エリアプラットフォームでは未来ビジョンのもと、令和6年度からオープンスペースの有効活用に向け、具体的な事業活動を進めていく予定です。</p> |
| <p>豊島区の繁華街である池袋で、居場所がない若者を受け止め、支援する24時間営業の居場所を開設する。</p>   | <p>すずらんスマイルプロジェクトの施策と連携も含め検討していきます。</p>   |
| <p>歯周病検診、胃内視鏡検査、乳がん検診を、区内だけでなく近隣区の医療機関でも受診できるようにする。</p>   | <p>他区の実施状況や課題の調査・ヒアリングを行うとともに、実現可能性について医師会や歯科医師会等との交渉を今後検討していきます。</p>   |
| <p>区民ひろば利用カードのトシマツハ特別バージョンを作成する</p>   | <p>区民ひろばの利用証は5年ごとに更新しており、現在はR3年度～R7年度の仕様になっています。そのため、すでに登録している場合はカードを切り替える必要があり、また名刺サイズのため余白が少なく、著作権元との調整も必要となるほか、現在、入館システムについても検討を行っており、導入の際は利用カードそのものが不要となることから、まずは入館システムの導入に関する検討状況を見極めていきます。</p>  |

| 寄せられた提案の概要（類似内容の提案をまとめて記載しています）  | 区の考え・対応状況   |
|--|---|
| <p>"としま いーふくぐるぐるプロジェクト"<br/>区民ひろばなど区民が立ち寄る場所に衣類回収ボックスを設置。回収した衣類のリストを高齢者総合相談センター、社会福祉協議会などに共有し、衣類が必要な方に届けてもらう。引き取り手がない衣類は障害者の活動団体に寄付する。</p>   | <p>実施に当たってはシステム作りも含めたコストがかかる想定されますが、生活支援体制整備の協議体である「ささえあいの仕組みづくり協議会」などでの協議等を通じて、実現可能性について検討してまいります。<br/>また、障害のある方が、古着に対するニーズがあるか、古着リメイク等の要望につきましても、障害者団体等を通じて検証してまいります。</p>   |
| <p>染井吉野記念公園をメイン会場、区民ひろば駒込をサブ会場として、マルシェ（年4回）を開催する。出店者は豊島区の住民・事業者を中心に選定。SDG s をテーマにしたブースを設け、来場者の関心を喚起。</p>   | <p>既存事業のファーマーズマーケットでの出展もご検討ください。<br/>▶ ファーマーズマーケット <a href="https://www.farmers-ikesun.jp/">https://www.farmers-ikesun.jp/</a></p>  |
| <p>来庁者に分かりやすくするため、区役所内の案内スタッフ専用のユニフォームを企画・デザインし、案内スタッフに提供する。</p>   | <p>案内スタッフのユニフォーム着用については、経費や管理方法に関する課題がありますが、今後、委託事業者と導入の可能性について検討していきます。</p>  |
| <p>ベジタリアン・ヴィーガン・ミートフリーマンデー食等、SDG's 配慮レシピを考案し食堂をOPEN。食材調達は区内食品関連企業中心に、余剰・廃棄・協賛食材を募り、食事配達システムを作る。特に「独居高齢者世帯、密室育児の親子、区内生活に不慣れな外国人、外出が難しい障害者」等「取り残されているかもしれない」緊急性の高い方々を優先して、食事を届けるとともに、来店可能な方は食堂に集い、食事を通し、交流を深めてもらう。</p> | <p>本提案を実現するためには、食堂となる拠点、調理および配達可能な実施事業者、各分野の緊急性の高い方々の調査および周知、余剰・廃棄・協賛食材を受け入れる仕組みづくり等、多くの人と費用、時間が必要になると考えます。<br/>まずは高齢者向けの誰でも食堂を普及させ、こうした取り組みに賛同する実施者を募っていきます。<br/>なお、今後のヤングケアラーに対する施策については、課題や施策の整理等を実施したうえで、どのように支援すべきかを検討していきます。</p>  |
| <p>豊島区役所に勤める有志職員×区内在住・在勤の10代～60代を対象に、デザイン思考を基盤としたプログラムを展開。未来の豊島区を創造するをテーマとし、計6回のプログラムを実施。区職員と民間プレーヤーの交流を通じ、豊島区の未来を支える民間人材ソリューションを創造していく。</p>   | <p>職員の人材育成に関しては、シティプロモーション課と人材育成担当課の連携を強化していきます。令和6年度は「係員2～5年目選択研修」にシティプロモーション課が講師として立ち、「一段上の資料作成スキルアップ研修」を実施します。</p>   |
| <p>専門職ではなく「茶のみとみだち」として徒歩圏内の高齢者と対話し、雑談をしながら関係性を築く。対話の力で人とつながる楽しさや良さを実感してもらう。通常の様子との違いを早期発見した場合には専門職の強みを活かして各部門につながる内容を提案する。加えて地域住民と活動団体や行政のつなぎ役をしたり、団体や行政の活動時の困りごとの改善点を一緒に考えたりする。</p>                                 | <p>各種相談が日頃の関係性がないと利用しにくいことを課題視した提案であるとの観点から、区としては「まちの相談室」や各種出前講座などを通じて、関係機関が日常生活のなかに身近に存在していることの周知を強化していきます。</p>  |
| <p>池袋中華街ブランディング事業<br/>①マップとスタンプラリーを作り、まわりきった人に商品をあげたり「ガチ中華踏破者」として認定する<br/>②区が認定する「ガチ中華スペシャリスト」のような人材を作ってメディア露出に協力する</p>  | <p>区として対外的にブランディングやイメージ醸成をすることは、区のみならず地域の団体なども含めての議論が必要と考えます。</p>   |
| <p>「地域おこし協力隊」のようなコミュニティリーダーの役割を担う人材を育成。既存のコミュニティ（商店街や町内会）を進化させ、老若男女楽しめ、かつ義務感のない気軽に参加できる新しいコミュニティの形を作ることによって新しく豊島区に住む人も入りやすいようにし多世代が共歓する社会を作る。</p>  | <p>町会は任意の団体であり、各町会は町会長をリーダーに各地域の特色を生かした運営を行っています。現状は役員の高齢化が進み、町会役員を担っている若者は少なく課題となっていることから、区としては若者に受け入れられる町会づくりのために、積極的な町会活動のPR等に取り組んでいく必要があると考えています。<br/>令和6年3月策定の豊島区産業振興指針に基づき、商店街だけでなくまち全体の活力を創出するため、大学生が商店会へ活性化策を提案するなど商店会と大学や町会などの連携を促進し、地域の文化資源や観光資源を活かしたにぎわいの創出を図るとともに、商店会を核とした地域コミュニティの強化が必要だと考えています。</p> |
| <p>区内のサウナや銭湯を活用したイベントを実施する。</p>  | <p>住民の健康の増進と住民相互の交流の促進の役割を担う公衆浴場の振興策については、東京都公衆浴場業生活衛生同業組合豊島支部のご意見もお聞きしながら区内公衆浴場支援事業を実施しています。</p>   |
| <p>売店、ランドリー、フードコートなど生活に関わる場を備え、高齢者、中高生、子どもがともに利用することで交流につながる施設をつくる。</p>  | <p>区民が世代を超えて交流できる施設として、区民ひろばを区内26か所に開設しています。</p>  |
| <p>子どもスキップに学童保育弁当用の冷蔵庫を設置する。</p>   | <p>保護者には予め、腐りにくい食材を用いた上で、保冷材等を入れていただくようお願いしており、また、冷房の効いた部屋で保管を行っています。</p>   |
| <p>図書館に、学習や在宅ワークができる個別ブースを設置する。</p>  | <p>学習・在宅ワークのための個別ブースを設置するには相当程度の規模が必要であること、都内では同様のサービスの多くが民間によって設置・運営されている現状があること等を踏まえ、公共図書館としてはまずは通常の自習室、自習コーナー、静寂読書室等を提供していきたいと考えております。なお、現状のパソコン席はキーボード音を気にせずご利用いただくことが可能です。</p>   |
| <p>地域の人々がイベントや取組みを発信できるオープンソースの地域情報アプリ・サービスを作る。</p>  | <p>豊島区の文化・観光を集約したWebサイト「IKE-CIRCLE」のなかで「JIMO-TOshima」という取り組みを行っており、区に在住・在勤・在学の方をボランティアのライターとして登録し、地元のおススメである店舗やイベントなどを取材して、IKE-CIRCLE内で記事として紹介しています。まずはこうした区が保有する広報メディアを整えるところから進めていきます。<br/>なお、町会掲示板や回覧板の情報は、地域の人々がイベントや取組みを情報発信できる民間の無料アプリ「piazza」等で発信しています。</p>  |

| 寄せられた提案の概要（類似内容の提案をまとめて記載しています）   | 区の考え・対応状況   |
|---|---|
| <p>区内の魅力ある個人商店、企業、施設などの人、背景、歴史、物語り、暮らし、舞台裏、情景などを撮影、アーカイブ動画を制作し、HPなどで24時間配信する。</p>   | <p>現状の取り組みとして区の文化・観光情報を集約したウェブサイト「IKE-CIRCLE」でさまざまなコンテンツを配信しており、「としま案内 雑司が谷」から提供のあった動画コンテンツをとしま案内雑司が谷を紹介するページ内に掲載しています。イベント等を素材とした動画配信を実施し、その結果を検証するというプロセスを繰り返すことで事業としての磨き上げを行っています。<br/>そのほか、ウェブ版区史編さんサイト「としまひすとりい」内「わが街ひすとりい」など類似の取組も実施しています。今後は事業を継続して推進する傍ら、SNS等さまざまなツールを活用し、区の魅力を区内外に向け強力に発信していきます。</p> |
| <p>池袋モンパルナス・トキワ荘・セゾンカルチャーなど、池袋界隈に育ってきたカルチャーは、実は今も脈々と池袋界隈に根付いており、それは新たな形として表現されはじけている。アメリカ・ポートランドがそのカルチャーを発信しているように、池袋も今、それをカルチャーとして発信できるタイミングにある。これをブランドブック（ムック本）として発信し、まちのブランディング化を図りたい。</p> | <p>ご提案のカルチャーに限らず、豊島区のまちの魅力は様々な媒体を活用し発信していくことを継続して検討していきます。</p>  |
| <p>オンライン申請できない区の手続きをリスト化し、オンライン化できない理由とともにホームページ等に掲載する。</p>   | <p>従前においては、オンライン申請可能な手続き数が十分ではありませんでしたが、令和5年度末に行政手続きのオンライン化に関する取組み方針を策定し、オンライン対応可能な手続きの拡充に全庁で取り組んでいます。この取組みと合わせて、今後は区政におけるデジタル化の進捗状況を区民の皆様によりわかりやすくお示しする方策についても庁内で検討していきます。</p>   |
| <p>住民の困りごと解決を住民のマッチングで解決するDAO（分散型自律組織）の創生。これからはじめての子育てに臨むパパ・ママが区内の情報を欲しい時、道路に散らばる公園の落ち葉の掃き掃除を手伝って欲しい時などに住民同士のマッチングを促進する</p>   | <p>DAOの創設については、法的根拠となる法令は今のところ存在せず様々な課題があり、すぐに創設するのが難しい状況です。豊島区には、赤ちゃんからお年寄りまでどなたでも利用できる「区民ひろば」があり、地域コミュニティの拠点として多くの方に利用してもらっており、住民同士の様々なつながりが生まれています。</p>  |
| <p>空き屋を利用して、区内の大学に通う海外からの留学生（例：東京国際大学、立教大学等）が安心して過ごせる安全基地となるような、またそれらの留学生と区民が繋がれるような"リトル大使館"を池袋に設立し、留学生の困りごとの相談会や各国の料理を区民に振る舞うイベント、お互いの文化交流となるイベントを開催する。</p>                                  | <p>区の国際交流事業として関係する部署や区内大学との調整の中で事業実施の可否について検討します。</p>   |
| <p>多文化共生事業「いけぶくろ多文化・多国籍・体験事業」<br/>多言語でも読める多文化共生ポータルサイトを立ち上げて外国人フレンドリーな場所及びお店、人、イベント、団体の紹介に加えて、SNSによる発信及び冊子の作成による普及啓発を行う。</p>  | <p>区の国際交流事業として関係する部署や区内大学との調整の中で事業実施の可否について検討します。</p>   |
| <p>街路樹にドングリがなる木を植える</p>   | <p>道路では落下したドングリにより足を滑らせてしまう危険性があるため、街路樹にはあまり適していません。公園内での植樹など、新たな植栽場所を検討してまいります。</p>  |
| <p>区内事業者の協力による婚活イベントを実施し、成婚事例をアニメーション化して配信する。</p>   | <p>婚活は個人の判断で行うものであるため、婚活そのものへの区としての支援の必要性については慎重に検討すべきものと考えます。関連する子育てや健康等の分野への支援は引き続き行っていきます。</p>   |
| <p>区民ひろば等を活用し、世界最先端のSTEAM教育プログラムを提供する。豊島区の子どもたちは誰でも無料で新しい時代に世界で通用するスキルを獲得することができる。</p>  | <p>子供の遊び場・居場所の観点からも、コンテンツの一つとして実施が可能かどうか引き続き検討していきます。</p>   |
| <p>わくわくエンジンプログラムを区内小学校に広めるため、数校で試験的に実施する。</p>   | <p>関係各課と調整して、実現可能かどうか検討していきます。</p>  |
| <p>区内企業と協働して、子どもたちのキャリア教育につながるようなワークショップを実施する。</p>  | <p>例えば高校生を対象としたキャリア教育は、実際の職場体験などを含め企業との協働が必要であるため、チームとしまと連携する等、検討をしていきます。</p>   |
| <p>地域のプレイヤーの方々に講師になってもらい、大人も子ども一緒に学べる取組み。例えば、定食屋の店主に教えてもらう美味しい味噌汁の作り方や、電気屋さんで教えてもらう夏の冷房の節約方法の解説など、生活に直結したまちの学びを展開する。</p>  | <p>既存の生涯学習人材バンクを拡充する形での対応ができないか、検討していきます。</p>   |
| <p>区内開催イベントにおいて、区内在住ファミリー世帯向け優先枠を設ける</p>  | <p>イベントを実施する事業者に対し、観光協会などを通じて、ご提案の内容や趣旨を共有してまいります。</p>  |
| <p>東部・西部子ども家庭支援センターと近隣駅を結ぶシャトルバスを創設する。</p>  | <p>現在子ども家庭支援センター所管で運行している「フットワークバス（東部子ども家庭支援センター、西部子ども家庭支援センターと周辺駅等のバス停を結んで運行するバス）」の増便について、引き続き検討してまいります。ただし、本提案を実現するには時間を要することから、東部・西部子ども家庭支援センターで実施している訪問員による家庭訪問を促進し、気軽に問合せできるよう情報発信に努めます。</p>   |
| <p>子どものメンタルヘルスの問題などを予防し、子どもと家族のウェルビーイングの向上を目指し、フィンランドの子育て・子ども支援法「Let's Talk about Children : LTC」を区内で実施する。</p>  | <p>「フィンランドの子育て・子ども支援法 Let's Talk about Children : LTC」について、まだ日本では未浸透の支援法であるため、行政が行う支援内容として適しているかも含め、まずは今年度中にレクチャーを受ける場や意見交換の場を設けることを進めていきます。</p>  |
| <p>区民が地域の魅力を再発見、調査しながら編集者として参加し、企画、編集、制作を行う子育てガイドブックを発行する。ママ・パパ目線の子供の遊び場、食事、施設、イベント体験の取材を通じて地域との交流が生まれる。</p>  | <p>現在運用している行政情報を発信することを目的とした「子育て情報ハンドブック」と生活情報を発信することを目的とした本提案と目的の違いを明確にし、どのような生活情報を発信するか、制作の手法も含め今年度中を目途に検討してまいります。</p>  |

| 寄せられた提案の概要（類似内容の提案をまとめて記載しています）  | 区の考え・対応状況   |
|--|---|
| <p>豊島区内にある店舗や企業と、子ども～大学生、社会人（全年齢対象）がマッチングできる仕組みを作る。</p>  | <p>子どもたちを対象とした場としては、自由学園明日館主催（共催：豊島区）で、R4年度から「としまでまなぶ夏の1日」を開催しています。将来を担う子どもたちに夏休みの学びの場を提供したいとの思いから、豊島区とつながりのある10以上の企業・団体がブースを出し、官民一体となって実施しています。また、未来を担う子供達に、ものづくりの原点と魅力を感じてもらうため、豊島区に縁のある企業の工場を見学する「夏休み親子工場見学バスツアー」も実施している他、区内企業の優れた製品や高い技術に加え、飲食を含めた商品の魅力を広く発信する見本市「としまMONOづくりメッセ」も毎年開催し、地域産業に対する理解を深めていただく機会を設けています。これらの機会を最大限ご活用いただけるよう、引き続き区民の皆さまへの周知につとめてまいります。</p> |
| <p>半身不随や怪我などで右側しか利用できない方や、家族連れで並んで乗りたい方が安心してエスカレーターを利用できるようにする。「エスカレーター条例」制定を検討するとともに、まずは区施設のエスカレーターで以下を実施し、徐々に区内民間事業者にも協力を促す。<br/>・「両側乗り」を促すことを目的として、ステップの両側に足形のシールを張る<br/>・エスカレーターを歩いて利用することは危険である旨の放送を流す。</p> | <p>エスカレーター利用の意識啓発を図るには広域的な取り組みが必要と考えております。東京都では鉄道事業者や商業施設、空港等と共同でエスカレーター「歩かず立ち止まろう」キャンペーンを実施しています。</p>  |
| <p>父の日・母の日・敬老の日などに際し、子供からのプレゼントとしての「絞り染めスカーフ」作りを、事前に修得した高齢者がサポートすることにより、世代間交流を図る。</p>  | <p>スカーフづくりを担うサポーターを養成するために必要な時間やコストの検証が必要と考えます。世代間交流についても前向きに検討します。</p>   |
| <p>既存のボランティアガイドによる『としまドリームチーム』がファシリテーターとなり、まち歩きと、エリアの特色に合わせたワークショップを実施する。「まち歩き」を軸とした多世代交流を目指す。</p>   | <p>地域の観光ガイドとして活動しているボランティア団体や事業者提案の事業を共有したうえで、事業の実施可否について検討します。</p>   |
| <p>高齢の低所得者または独居の方を対象に、区役所内で昼食を無償提供する。身体不自由な方には配食を無償化する。提供側には、ボランティア、定年退職者、料理ができる方、学生などを募る。</p>   | <p>「誰でも食堂」は有償で実施しており、区では誰でも食堂の開設・運営を支援しています。応益負担の観点から無償化については必要性を踏まえ検討します。</p>  |
| <p>「すずきみみずく」や「ソメイヨシノ」などのような、地域の歴史と結びつき、としまブランドとなり得る商品、文化のコンペティション実施と事業化の為にフォロー体制確立（産官学・支援団体等）</p>  | <p>ソメイヨシノについてはブランド確立に向けた取り組みを区及び地域の団体が一体となって実施しています。提案のあった内容については一部のエリアでは実施されており、同様の取り組みを他のエリアまで拡大可能であるか、地域の団体と協議の中で検討していきます。</p>   |
| <p>区民を対象とする財産形成や金融知識に関するセミナーを定期的開催。特に子供の金融リテラシーをあげることに主眼をおく。区民の金融知識レベル向上を図るとともに、投資の実践を促進することで、区民自らの財産形成を促進、ひいては自助による区の財政負担軽減に繋げる。</p>  | <p>令和5年度に金融講座を実施した際は、申込が低調でした。子どもが対象であれば小学校等の授業やスキップでの実施も有用であると考えられますので、実施方法等について検討していきます。</p>  |
| <p>病児・病後児保育もしくは病児シッターの拡充で、家族の健康維持と、夫婦で仕事を続けられる環境作りの強化。</p>   | <p>病児・病後児保育のweb予約を導入した場合の懸念点等について、各事業者ヒアリングを行った結果、お子さんの病状等の聞き取りの必要性があることから、web予約の導入への懸念が示されました。しかし、直近でweb予約を導入している自治体もあることから、導入における課題等を調査し、引き続き事業者と導入に向けて協議を続けてまいります。</p>   |